

第5回 立川市入札等監視委員会審議概要

開催日及び場所	平成30年12月26日(水) 201会議室		
出席委員氏名	鈴木満 委員長、山田春紀 委員、榎本孝芳 委員		
審議対象期間	平成30年8月1日～平成30年11月20日		
抽出案件	工事 12件	委託0件	総件数 12件
条件付き一般競争入札	工事 4件	委託0件	総件数 4件
指名競争入札	工事 0件	委託0件	総件数 0件
随意契約	工事 8件	委託0件	総件数 8件
(備考)			
<p>次第</p> <p>1 委員長の選任について</p> <p>2 職務代理の指定について</p> <p>3 委員長・職務代理のあいさつ</p> <p>4 議事</p> <p> (1) 審議</p> <p> ア 平成30年度工事契約抽出案件について (平成30年8月1日～平成30年11月20日)</p> <p> (2) 報告</p> <p> ア コンプライアンス・業務点検月間の実施について</p> <p>5 新清掃工場建設の経過報告</p> <p>6 その他</p>			
委員からの意見、質問及びそれに対する回答			
意見・質問	回 答		
1 委員長の選任について	・委員の互選により、鈴木満委員が委員長として選任された。		
2 職務代理の指定について	・鈴木委員長より、山田春紀委員並びに榎本孝芳委員が、職務代理として指定された。		
3 委員長・職務代理のあいさつ	・鈴木委員長、山田職務代理、榎本職務代理よりあいさつあり。		
4 議事			
(1) 審議			
ア 平成30年度工事契約抽出案件について (平成30年8月1日～平成30年11月20日)	・品質管理課長が、平成30年8月1日から平成30年11月20日までの22件の総価契約の競争分の工事について、平成30年度の実施状況及び平成29年度の同一期間との比較を行った結果を説明する。		

- ・契約件数は、25件から22件へ3件減少した。
- ・平均参加者数は、5.4社から4.0社で1.4社減した。なお、平成28年度は3.8社であり、3年度間の比較でみると、平成29年度が比較的多かった。これは防水、一般塗装、道路標識の塗装で参加者数が10社以上の工事が多くあったためと考えられる。
- ・単純平均落札率は、81.88%から86.85%へ4.97ポイント上昇した。なお、平成28年度の84.84%と比較しても上昇している傾向が見られる。
- ・加重平均落札率は、79.97%から90.22%へ10.25ポイント上昇した。平成28年度の84.85%と比較しても今年度は上昇している。これは、落札額が2億円と高額で契約金額全体の4割近くを占める案件が1件あり、この落札率が99.4%と高落札率であったことが影響していると思われる。なお、この工事を除いた場合の加重平均落札率は85.28%となり、平成28年度とほぼ同じ落札率となる。
- ・業種別でみると、平成29、30の両年度で12業種が重なっており、そのうち8業種で落札率が上昇している。特に、建築工事が5.47ポイント、電気工事が6.36ポイント、道路標識設置が6.96ポイント、電気通信工事が6.9ポイントそれぞれ上昇している。また、建築工事は、今年度3件あるが全て95%以上の落札率となっている。電気工事は、平成29年度はほとんど予定価格の70%の最低制限価格に入札価格が張りついていて、4件あるうち3件が「くじ引き」となっている。今年度は「くじ引き」は発生しておらず、変動型最低制限価格制度の一部を変更したことにより入札行動が変化したためと考えられる。道路標識設置工事と電話・通信工事は各1件ずつであった。これらは、両年度で同じ件名であり、落札者も同じであった。
- ・変動型最低制限価格は、今年度より工事全件が対象となり22件あるうち12件が算定、10件が未算定となった。算定となった12件の平均落札率は80.68%、未算定の10件のほうは94.26%となり、その差は13.58ポイントとなった。また、変動型が算定になったにも関わらず最低入札価格が2社同額であったために「くじ引き」が発生した案

<p>変動型最低制限価格が算定されているにもかかわらず「くじ引き」が1件発生している。固定型最低制限価格のときのように入札価格が集中することがないので、今回はたまたまという事であろうがとても珍しいことのように思える。</p> <p>入札参加者の申請期間が短いものがある。取扱いが変更になったのか。競争が制限される原因とならないか。</p> <p>今回は例年に比較し不調件数が増えているのか。</p>	<p>件が1件あった。ただし、2社の工事積算内訳はそれぞれ異なっていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質管理課長がこの期における条件付き一般競争入札4件の抽出案件の説明をする。競争分については、落札率が95%以上のものを抽出した。 「立川市公共下水道緑川幹線改築（更新）第1期工事」、「砂川七番学童保育所（仮称）改修工事（建築）」、「立川市見影橋公園野球場便所建替工事」、「立川市総合福祉センター保育室等改修工事」。 ・4件とも参加者数が少なく、顕著な特徴は見られなかった。 ・基本的に月曜日に告知してその週の金曜日に締め切っている。取扱いは従前から変わっていない。 ・今回の抽出案件には、工事内容に困難なものがあったため不調となることが多かったが、年度全体で見ると、極端に増加しているという事でないと思われる。 ・品質管理課長がこの期における8件の特命随意契約（総価）について説明する。 「全国瞬時警報システム受信機更新工事」、「立川市総合福祉センター空調機設置工事」、「立川市錦町下水処理場汚泥処理設備濃縮槽（No.1、3）補修工事」、「立川市錦町下水処理場汚泥処理設備脱水機（No.3）補修工事」、「立川市清掃工場破碎機設備補修工事」、「立川競輪場中央スタンド無停電電源設備バッテリー等交換工事」、「庁舎議会電気錠設置工事」、「立川市公共下水道管渠等維持工事その2」。
---	---

<p>・災害時に備えて、特定の事業者団体と災害協定を結んで対応している自治体が見受けられるが、他の事業者等が排除されてしまう側面があるという事を公平性の観点から留意する必要があると思われる。</p> <p>(2) 報 告</p> <p>ア コンプライアンス・業務点検月間の実施について</p> <p>・内部通報制度があったように記憶しているが、現在はどうなっているか。</p> <p>・官製談合防止法に係る談合事件の多くは、予定価格等の秘密情報の漏えいに関するものである。これを未然に防止するには、予定価格等を事前公表し秘密情報にしないというのが最大の予防策であると考える。</p> <p>5 新清掃工場建設の経過報告</p> <p>6 その他</p> <p>(1) 工事成績評定に係る再苦情について</p> <p>(2) 次回開催について</p>	<p>・品質管理課長が、コンプライアンス・業務点検月間（11月1日から11月30日）に行ったコンプライアンス研修の実施内容について報告する。</p> <p>・現在も制度はある。行政管理部総務課に通報窓口が設置されており、弁護士への直通ラインも備えている。</p> <p>・ごみ減量化担当部長及び新清掃工場準備室長より新清掃工場建設の経過報告があった。</p> <p>・品質管理課長が、前回、前々回の当委員会での審査を受けて回答書を送付した旨の報告があった。</p> <p>・次回の開催は2月20日（水）10：00。</p>
--	---